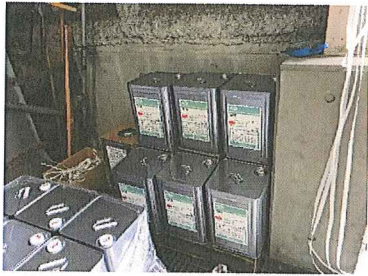


## 【雨注意】

野ざらしの希釈材等材料保管ご注意ください



【希釈材は屋内保管】



【野外養生保管】



【野ざらし】



特に特化則対応品のウレタン硬化剤は、少量の水が混入し、攪拌すると材料のゲル化が始まります。



ドラム缶180<sup>キロ</sup>に対し100ccの水



ホイップ状に

UNマシンにおきましては1層目施工後は基本的に下記にあるようドラム缶を養生します。養生無く、その後雨に打たれると蓋の隙間より雨水が侵入の可能性があります。



ドラム缶を養生



ドラム缶雨水進入(拭き取り施工へ)

特に、1層目を終え、**使い残り希釈材を野ざらし保管**した後、雨に打たれた場合キャップの隙間より雨水が浸入し、2層目施工時にその希釈材を使用攪拌するとすぐに、ゲル化が始まり、圧送が困難となります。



(隙間から雨水が)

**天候不順等、施工と施工の間が空く場合はお手数ですが、希釈材の「屋内保管」又は「養生」「お持ち帰り」等、材料が無駄にならない様、ご理解、ご協力の程お願い申し上げます。**